

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスレインボー与那原		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 5日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な児童指導員が在籍。	これまでの支援経験や専門的知識を活かし、一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援を丁寧に行っています。また、職員間での情報共有や振り返りを日常的に行い、支援の質の向上に努めています。	定期的な研修参加や事例検討を通して専門性の向上を図るとともに、保護者との連携を一層強化し、家庭と事業所が一体となった支援体制の充実に取り組んでいます。
2	子供が楽しめる多種多様な体験の提供。	季節行事や創作活動、スポーツレク、SST、お出かけなど幅広いプログラムを取り入れ、子ども一人ひとりの興味・関心や発達段階に応じた活動を工夫しています。またお仕事図鑑やお買い物学習、クッキング等、子ども達の自立に向けた活動を意識して計画しています。	子どもたちの声や保護者の意見をより積極的に取り入れながら活動内容のさらなる充実を図り、より豊かな体験機会の提供に努めています。
3	将来を見据えた支援	日々の活動の中で生活スキルやコミュニケーション力の向上を意識し、子ども一人ひとりの特性や目標に応じた段階的な支援を実施しています。将来の自立や社会参加につながる力を育むことを心がけています。	関係機関や保護者との連携をより一層強化するとともに、進路やライフステージを見通した個別支援計画の充実を図り、長期的な視点に立った支援体制のさらなる向上に努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催	年1回、合同運動会を行い保護者同士が自然な形で顔を合わせ交流できる場を設けている。保護者会の開催があまりできていない主な要因として、保護者の就労等による日程調整の難しさ、開催目的や参加メリットの十分な周知ができていないことが考えられる。	今後は、保護者ニーズを把握し、情報共有や交流の目的を明確にし、保護者が参加したメリットを感じられる内容を考えていく。
2	海拔が低い立地のため津波に対する懸念	当事業所は海拔が低い地域に立地しており、万が一、地震発生時に津波被害が懸念される環境にあることが弱みとして挙げられる。立地条件そのものは変更が難しく、万が一の時のために、避難場所まで利用児童の特性に応じた迅速な避難対応が課題となっている。	定期的な避難訓練を実施し、子どもの命と安全を最優先に、チームとして行動できる体制をつくる。職員は研修を受け、緊急時に落ち着いて適切な初動対応を行えるようにする。あわせて、保護者への丁寧な説明や情報発信を行い、災害時対応への理解と安心感の向上につなげていく。
3	地域の他の子どもと活動する機会	公園や児童館で遊ぶ機会は設けられているが、地域団体や学校、他施設と企画をして交流・活動することはできていない。地域団体や学校、他施設等との連携体制が十分に構築できていないことが考えられる。	次年度は、地域の放課後等デイサービス等の他施設と合同で運動会や福祉祭りが予定されている。小規模な合同活動や行事への参加など、無理のない形から取り組みを始めていきたい。